

## 国立大学法人 長岡技術科学大学

### 平成26年度第3回(第63回) 経営協議会議事要旨

日時	平成26年11月25日(火) 13時30分～15時40分
場所	ホテルニューオータニ長岡3階【うめ】
出席者	新原議長、池田委員、大貝委員、岡田委員、岸委員、五味委員、相岡委員、山崎委員、武藤委員、東委員、菅野委員、三上委員、中出委員、斎藤委員(議事の表決の委任による出席者:合田委員、小畑委員、森委員)
欠席者	縣委員
陪席者	齋藤監事、滝上監事、伊藤附属図書館長、高橋長岡市理事(商工部長)兼エネルギー政策監
事務局	総務部長、企画・広報室長、総務課長、人事・労務室長、財務課長、総務課課長補佐、財務課課長補佐、企画・広報室経営企画係長、総務課総務係長、人事・労務室人事係長、人事・労務室労務・職員係長、財務課主計係長、財務課主計係主任、総務課総務係員

議事に先立ち、議長から第62回議事要旨(案)について説明があり、案のとおり承認した。

#### 審議事項

##### 1 人事委員会規則の制定について

武藤委員から資料1に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

主な質疑応答は、以下のとおり

- 教員配置後の点検評価は、教員個人の評価についても人事委員会で行うのか。
- 人事委員会では、教員人事の基本方針に基づいた人事が行われているか点検評価するものがあり、教員個人の評価については、これまでどおり教員評価部会で行うこととなる。
- 人事委員会の設置により具体的な教員選考のプロセスについて変更はあるか。
- 学校教育法の改正により教授会の役割が明確化されたところであり、当該法改正の趣旨に基づく変更と合わせて教員人事のプロセスを変更する準備をしているところである。変更後の枠組みは次のとおり。

人事の基本方針(人事委員会)→欠員時の具体的な配置(新たな会議)→教員選考委員会(教授会)→候補教員の教育研究業績の審査(教授会)→候補教員の適否の審議(新たな会議)→決定(学長)

##### 2 平成26年度補正予算について

菅野委員から資料2に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

主な質疑応答は、以下のとおり

- 学長戦略的経費はどのように配分するのか。
- 教員からの教育・研究に関する提案事項、高専との連携事業、外部との連携活動に係る経費等、学長として本学が重点的に実施すべきテーマへ集中的に配分していく。

### 3 平成25年度決算剰余金について

(平成25事業年度財務諸表の承認及び繰越承認に関する報告を含む。)

菅野委員から資料3に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

### 4 就業規則等の改正について

菅野委員から資料4-1及び4-2に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

主な質疑応答は、以下のとおり

- 年俸制適用職員の退職金、諸手当についてはどのようになっているか。
- 退職金相当額を年俸に上積みしており、退職金は支給しないこととなる。諸手当については職員給与規則を準用する。

報告事項

#### 1 平成25年度に係る業務の実績に関する評価結果について

武藤委員から資料5に基づき、報告があった。

#### 2 第3期中期目標・中期計画について

武藤委員から資料6に基づき、報告があった。

#### 3 平成27年度概算要求(文部科学省要求内示)について

菅野委員から資料7-1～7-3に基づき、報告があった。

#### 4 スーパーグローバル大学等事業及び大学の世界展開力強化事業の採択について

東委員から資料8-1に基づき、武藤委員から資料8-2に基づき、それぞれ報告があった。

主な質疑応答は、以下のとおり

- スーパーグローバル事業に関しては、周辺企業がどのように関わってくるかが課題となると思われるが、企業が参入できる体制はできているか。
- 3年前から企業と包括連携協定の締結を進めており、また、コーディネーターを配置するなど体制は整えている。海外進出企業に参入してもらうための取り組みは、既に始めている。

以上